

た ま に 、 母 校 を 思 い 出 そ う

# 岡山白陵 忠高 同窓会報

発行：岡山白陵同窓会  
〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588  
TEL:086-995-1255



岡山白陵同窓会  
三本宮吉先生之像

第19号

平成25年5月15日

まばゆい新緑の中で

## Contents

ごあいさつ .....	2
同窓活動報告	
・ 陶板寄付贈呈式 .....	3
・ 東京支部発足 .....	4
音楽部を語ろう .....	6
母校便り .....	8
編集後記 .....	8





会長  
大津 正和  
MASAKAZU OTSU

会長挨拶

この度、また、このように同窓会報をお届けすることができました。会報発行のためにご尽力くださった、役員はじめ会員の皆さんに感謝申し上げます。

岡山白陵同窓会も、今春、182名の35期卒業生を新たな会員として迎えることができました。今春の進学実績は、東京大学18名、岡山大学医学部14名、国公立大学医学部医学科39名、そして準大学を含む国公立大学への合格者総数が117名と（いずれも現・浪あわせた数字）、立派な進学実績を打ち立てています。我々同窓生も、若い後輩たちに負けないように、頑張らなければとの思いしきりです。

既にお知らせしたように、昨秋には新校舎が完成し、在校生諸君は真新しい学舎で勉学に励んでいます。また、同窓生の皆様には、新校舎建設に対する応援のために、寄付のお願いをしてきましたが、皆様からお寄せいただいた寄付金480万円余りに同窓会からの資金を加えた1千万円と、大塚オーミ陶業株式会社制作の陶板4枚を、去る2月16日の卒業式の日、同窓会より寄贈しております。多くのご協力に、改めて御礼申し上げます。

同窓会そのものの活動としては、会員の増加、特に東日本方面での会員の増加に対応するために、東京支部を設置することになり、東京支部の設立記念式典を、6月29日に開催する予定ですので、東日本にいらっしゃる会員の皆さんには、万障お繰り合わせの上、是非ご参加ください。

さらに、新校舎建設工事にともなって、中止しておりました、運動会にあわせた同窓会の集いを今年から復活させる予定です。新校舎完成とともにますます発展を続ける母校の姿を一目見るとともに、懐かしい先生方や仲間たちとの再会の機会として、奮ってご参加ください。

年を経るごとに、会員数は自動的に増えていきますが、同窓会としての活動は、会員の皆さんの積極的な協力・参加がないと活発化はできません。それぞれにお忙しいとは思いますが、今後とも同窓会活動へのますますのご協力をお願い申し上げます。

校長挨拶



校長  
石原 元秀  
MOTOHIDE ISHIHARA

本校は今、若葉に包まれ、今年も一年で最も爽やかな季節を迎えています。

卒業生の皆様には既にご案内の通り本校の校舎は昨年8月に新しく建て替わりました。5階建てで旧校舎の2倍の広さ、総床面積約7200㎡の広々とした、明るく開放的な校舎となっています。岡山に来られた際には是非とも熊山の地に足を下ろしていただきたいと思っております。また、新校舎建築に際して、卒業生及び同窓会からご寄付をいただくとともに、旧校舎及び新校舎の写真を陶板に焼き付けたものを4枚寄贈していただきました。お礼申し上げます。1階のコモンスペースの壁面にはこの陶板写真を掲げておりますので、ご来校の際には懐かしい旧校舎の写真もご覧ください。

さて、春と言えば大学入試の結果ですが、昨年は東大の数あまり出ませんでしたので、卒業生の皆様をはじめ各方面の方々に大変ご心配をおかけしました。今年の結果ですが、まずまずという結果ではなかったかと思っております。東大18名（現役7、浪人11）、国公立大医学部医学科39名（うち岡山大医学部14名）となっております。詳しくは別に掲載しておりますのでご覧ください。ある週刊誌では東大の伸びが全国一（14名増）と紹介されましたが、前年が残念な結果であっただけに何とも面映ゆいという感じがしております。

年度末には様々な反省が出ますが、その一つに中高一貫の特性を十分生かしきれていないのではという反省があり、今年度はこの対策に具体的に着手したいと思っております。いずれにしましても本校としては常に攻めの姿勢を忘れることなく、質の高い授業を生徒たちに施したいと思っておりますので、今後ともご支援くださいますようお願いいたします。

なお、6月には念願の同窓会東京支部が立ち上がると聞いております。おめでとうございます。その際には学校からも私、校長を始めとし何名かの者が馳せ参じ、お祝いを申し述べたいと思っておりますので、よろしく願いたします。

同窓活動 Report  
Dosou Report 報告

陶板寄付贈呈式



今年2月16日、校長室にて贈呈式が開かれ、大津同窓会長から石原校長先生に寄付の目録が手渡されました。

目録の内容は、皆様からお寄せいただいたご厚志に同窓会からの拠出をあわせた1千万円の寄付金と、同窓会から贈りした大塚オーミ陶業社製の陶板4枚です。皆様のお志で、多くの寄付を母校に贈ることができましたことを、ここに改めてお礼申し上げます。

また、大塚オーミ陶業社は徳島県鳴門市にある大塚国際美術館に収められている陶板名画の数々を作成した会社で、今回の陶板にも、新旧の校舎が当時の姿そのままに印刷されています。陶板は生徒昇降口を入ってすぐのコモンスペースに飾られています。生徒たちの憩いの場に、いつまでも懐かしい学校の姿を記憶してくれるものと思います。学校にお越しの際にはぜひご覧ください。

## 東京支部「東京碧翠会」発足



会長

田中 祥雅 (6期生)

同窓の皆様こんにちは。私は6期生の田中祥雅と申します。

このたび、岡山白陵同窓会東京支部として「東京碧翠会」が発足の運びとなり、僥越ながら会長を務めさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。役員には岡山白陵同窓会副会長の永原琢朗君(9期生)をはじめ、9期生の河田祐子さん、22期生の後白一樹君(事務局長)、22期生の和田隆君、32期生の布施貴史君が就任して下さい、この会を盛会にすべく尽力してくれています。

第一回東京碧翠会は6月29日(土)の午後、銀座のMY HUMBLE HOUSE TOKYOにて開催します。東京で年に一度同窓生が集い、旧交を温めようというのがこの会の趣旨です。ですから関東在住に限らず、同窓生ならどなたでも参加可能です。また、今回は校長先生をはじめ10名以上の先生方がお忙しい中駆けつけて下さるそうです。皆様お誘い合わせの上、ふるってご参加いただければ幸いです。



副会長(岡山白陵同窓会副会長との兼務)

永原 琢朗 (9期生)

同窓の皆様こんにちは。日頃は岡山白陵のため、蔭に日向にご支援賜り、誠に有難く御礼申し上げます。

昨年初めて高砂白陵と合同の同窓会を東京品川にて開催しました。うれしいことに卒業生の数では高砂に劣る岡山白陵勢ですが出席者数ではほぼ肩を並べる113名が出席、大盛況であったことを改めて報告させていただきます。

昨夏の同窓会役員会にて正式に東京碧翠会として承認を受け発足した次第です。会長には6期生田中祥雅様、事務局長には22期生後白一樹君に快諾のうえ就任頂きました。

今年の第一回は6月29日(土)の午後開催致します。何と同窓会長および学校から校長先生はじめ10名を上回る恩師の方々が出席いただける運びとなりました。

近年の卒業生の進学先も更に東京志向が強まっている由、年代を越え、より多くの卒業生が集い、恩師との旧交を温め、東京により強固にネットワークを築く場になればと願っております。

## 第1回東京碧翠会開催のご案内

1. 日時: 6月29日(土) 13:00~15:00 (12:30受付開始)

2. 場所: MY HUMBLE HOUSE TOKYO

〒104-0061 東京都中央区銀座3-3-1

ZOE銀座BI TEL:03-5524-6166

3. 会費: 社会人10,000円、学生3,500円

4. 申込み方法

参加をご希望される方は、以下のいずれかの方法によりお申し込みください。

### 電子メールアドレスをお持ちの場合

(1) 東京碧翠会の幹事会メーリングリスト(tokyohekisui-kanji@freeml.com)に参加希望の旨をご連絡ください。なお、今後、同窓会関係の情報は、東京碧翠会の参加者メーリングリスト(tokyohekisui-all@freeml.com)から随時配信しますので、こちらの参加者メーリングリストへのご登録も是非お願い致します。(幹事会メーリングリストへ送信される際、参加者メーリングリストへの登録希望の旨も併せてお知らせください。)

### Facebookアカウントをお持ちの場合

(2) 東京碧翠会のFacebookページ(<http://www.facebook.com/groups/388579981239135/>)にアクセスしてください。

既存の参加メンバーが承認しますので、その後、ページ内の「イベントページ」にて「参加」ボタンを押してください。今後、同窓会関係の情報は、このFacebookページ上でも随時お知らせ致します。

### 東京碧翠会 幹事会一同

会 長:	6期	田中 祥雅
副 会 長:	9期	永原 琢朗
女 性 部 長:	9期	河田 祐子
事 務 局 長:	22期	後白 一樹
事務局長補佐:	22期	和田 隆
学 生 部 長:	32期	布施 貴史

ご不明点等ございましたら、  
tokyohekisui-kanji@freeml.com  
までお願いいたします。



## 音楽部を語ろう

同窓生の方が来られると、職員室の先生方の顔が一度にほころびます。時間を超えての思い出話、それぞれの現況……話は尽きることなく続きます。

昨年夏、音楽部の同窓生が来校されました。今号特別企画「音楽部を語ろう」は、17期の片山葉子さん・18期の吉田桃子さん・19期の片山茂郎さんに、学年団の岡崎善明先生や音楽部顧問の三木雅弘先生、そして同時期に学生生活を送った15期の赤木ひと美を交えてのその時の模様をお届けします。



左より吉田桃子さん、片山葉子さん、三木先生、片山茂郎さん、赤木ひと美。職員室にて。

### 【体育館の3階】

岡崎：そうね、ここ何年かはブラバンのまあ楽器の数が増えたのか、人数が増えたのか分からないけど、音の大きさも割とボリューム感があって良くなってきてるね。

三木：ほんとに楽器の数は増えてないやけどね（苦笑）。

赤木：要は人数が多くなったのよね。彼等、彼女たち（両片山さん・吉田さん）の頃っていうのは、体育館の3階の所、今卓球部が練習している所で練習するぐらいの人数しかいなかったんだもん。

吉田：でも、高3が試験してる時とか音が出せなかったよ。下が高3の教室だったから。

片山葉：それに、けっこうあそこ、危なかったよね。金管楽器とかが大きな音で吹いてると、「おまえらうるさいんじゃー」みたいに、後ろからバレーボールが飛んできたり（笑）。

吉田：時にはバスケットボールも飛んできたよね（笑）。まあ、ネットはあったんだけど、それでもスリルがあった。

三木：部室がああ体育館の右舞台袖上にあたって、

知ってるのは何期生までや？

片山茂：19……20期生ぐらいまで。うん、僕らが引退した頃に柔道場が音楽室になって、部室も移ったというか。

片山葉：そう、私が卒業した時にはまだ体育館上が部室だったけんね。

片山茂：でも、あの当時、チューバ運ぶの大変だった。

片山葉：うん、体育館の3階から、チューバ担いで上げてはね。

三木：君はチビスケやったもんね。

片山茂：そう、オートマチックチューバだって結構名物になりましたよ。

教員一同：オートマチックチューバ！？

片山茂：僕中一の頃とか、体がすごくちっちゃかったんで、部室の一番奥の窓際にあそこちょっと1段、段があったじゃないですか、その段の下にチューバを置いて僕がその段の上に座って吹いてたんですよ。で、部員が部室の入口入ってくるとちょうど正面で見えるんですけど、僕の体がチューバに隠れて見えない。だから、勝手にチューバが鳴っていると、

一同：（笑）

### 【No music, no life.】

赤木：いつ部活の場が変わったの？

片山茂：ちょうど僕が高3の時。その、柔道場が改装されて音楽室になった時と同時です。

三木：あの頃って学校全体がまだ過渡期のような…混沌とした感じだな。

赤木：私のころは生徒が指揮を振ってましたよ。

岡崎：まあ、黒田先生は、なかなかずっとこっちにおるわけじゃないから、生徒が自分でやってかなきゃしかたがないというのがあるわなあ。

赤木：そう、自分達で運営する部みたいな感じがとても強かったイメージがある。

片山茂：自分らで勝手にやりましたからね、自由に。

岡崎：自分達で技術力を磨ける、磨いていく、そういう力があるやつがどんどん入って来てた。

赤木：楽しいことは自分達でやるんだ！みたいな感じ、かな？

片山茂：まあ後は単純に音楽が好きだとか、そういう雰囲気でしたよね。

### 【吹奏楽連盟】

吉田：吹奏楽連盟に入って活動し始めてからちょっとカラーが変わったんじゃないかと思います。

岡崎：高校吹奏楽連盟って入ってなかったの？

吉田：入ってなかったんです。決定的に人数も足りなかったんです。

片山茂：そう、あの時はちゃんとした高吹連じゃなくて、特別枠じゃないけど中学生と高校生合わせてやっとその人数になるぐらい。

岡崎：そうかそうか、中学校と一緒にだめなんだ。

片山茂：はい。

赤木：じゃ、いつ入ったの？

片山茂：僕が高2の時ですね、僕が副部長やってる時。

三木：ああ、そんな頃やなあ。

片山茂：で、あの年に初めて岡山市民会館でバンドフェスティバルに出て、その時の審査員の評が岡白にしては上手かったっていうのが……

片山葉：（笑）岡白にしてはって何？何をもって岡白なんやな。失礼な。

片山茂：なんで岡白？つまり進学校で柔道しか強くない、どうせ音楽なんかお前ら出来ないだろうというところで、岡白にしては上手かったというのが、カッチーンときて（笑）

一同：（笑）

吉田：つきっきりで指導してくれる人はいなかったんで、そうすると指揮者も毎年変わるしね、その年その年の部長の才覚によるところが大きいというか、引っぱる学年の才覚によるところが大きいというか……その学年の個性が出てましたね。

片山葉：学年によってすごい波がある。でも、それだけに、楽しかったですよ。もう、本当に好き放題したし。（笑）

（紙面の都合上、敬称を略させていただきました。）



思い出の体育館3階練習所にて。お三方がどこにいらっしゃるか、おわかりですか？

## 平成25年度進路実績

国公立大学		私立大学	
	合格者数		合格者数
東京大学	18(1)	早稲田大学	33
岡山大学	26(14)	慶應義塾大学	14
北海道大学	2	上智大学	5
東北大学	1	東京理科大学	12
東京工業大学	1	中央大学	14
大阪大学	5	同志社大学	16
神戸大学	4(1)	立命館大学	16
九州大学	8(2)	関西学院大学	8
広島大学	5(1)	その他	78
山口大学	3(2)	私立大学計	196
鳥取大学	6(2)		
香川大学	5(3)		
高知大学	2(2)		
防衛医科大学校	4(4)		
その他	27(7)		
国公立大学計	117(39)		

※( )内は医学科の合格者数です。

## 過去5年間の実績

	H21	H22	H23	H24	H25	計
東京大学	19	26	12	4	18	79
東大理Ⅲ		1	3	1	1	6
岡大医学部 医学科	10	10	6	10	14	50
国公立大学 医学部医学科	31	49	42	41	39	202

### 校舎建替寄付金ご協力者ご芳名 (平成24年12月以降)

口数	氏名	卒回	口数	氏名	卒回
10	松本知訓	24	1	濱本雅子	20
5	長崎歩	34	1	久保田陽介	22
3	出口静吾	4	1	河野由美子	22
3	寺尾文恵	19	1	三浦公	22
3	山陰都史佳	34	1	三村直毅	22
2	森田啓督	18	1	黒川可奈子	26
2	大森雅浩	26	1	横山未来	26
2	三宅崇文	29	1	山村裕理子	27
1	押部俊治	4	1	宮本雄史	28
1	西川誠一	9	1	林優花	29
1	坂本(久松)倫子	13	1	山本紀子	30
1	牧昌弘	14	1	森田翔一	32
1	橘洋美	16	1	山本優美子	32
1	畑茂	17	1	村上翔子	33
1	三宅規仁	19			
1	吉田恭子	19	2	赤松初夫先生	旧職員
1	河本哲	20			

### 原稿募集



事務局では、今後も会員の方々のいろいろな情報を掲載し、会員相互の情報交換の場にしていきます。

- ・同期会、クラス会、OB会の報告
- ・旅行記、修学旅行、入学式、高校時代の思い出
- ・卒業生のご活躍の方々、お店の紹介
- ・同期会等の開催告知 etc...



まずは、同窓会事務局まで、郵送又はメールでお寄せ下さい。尚、紙面の都合上、掲載できない場合もございますので、ご了承下さい。



## 岡山白陵同窓会

〒709-0715 岡山県赤磐市勢力588 TEL: 086-995-1255

学校ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/> 同窓会ホームページ <http://www.okahaku.ed.jp/dk>

E-mail [dousoukai@okahaku.ed.jp](mailto:dousoukai@okahaku.ed.jp)

## 編集

Editor's note

## 後記

先日、長く連絡をとっていなかった友人が、共通の友人を通じて連絡をくれました。互いに違う場所で違う生活をしていながら、心は変わらず隣にいるような、なつかしいというよりも、あたたかい思いに包まれました。大切にしたいつながりを改めて確認できたことでした。

今年は同窓会にも支部ができることになり、同窓会の発展を、心強く、嬉しく思っています。岡白の同窓生は日本全国、世界各国で活躍しておられますが、お

そらく、皆の心にある岡白への並々なぬい思いには通うものがあるのではないかと思います。是非、東京在住の方、近郊の方、またおりしも東京におられる方、多くの方が6月29日には銀座に集われ、思い出を語り合い、心がつながる時間となりますよう、楽しみにしております。

このたびも、多くの方にお世話になり、会報ができあがりましてことを、心よりお礼申し上げます。